

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：アソシエふれあいの丘保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：高橋 実佳	定員（利用人数）：80名（78名）	
所在地：〒224-0062	横浜市都筑区葛が谷15-3	
TEL：045-507-6881	ホームページ：http://www.associe-international.co.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2012年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アソシエ・インターナショナル		
職員数	常勤職員：20名	非常勤職員：6名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士（幼稚園教諭含む） 20名	看護師 2名
	栄養士：3名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室（ほふく室）	
	保育室 4室	

③理念・基本方針

<理念>

- アソシエがあるところ、健康で文化的な子育てが守り抜かれ、子どもたちの、生命、人格、個性が尊重される。
- アソシエがあるところ、地域に応じた真に必要なとされる子育て支援が提供され、地域ごと元気になる。
- アソシエがあるところ、人と人との心から信頼しあえるつながりが生まれ、共に成長を分かち合う。

<基本方針>

- 子ども：子どもひとり一人の心に寄り添い、生きる喜びと生きる力を育む。
- 保護者：楽しくも大変な子育ての負担を理解し、「ホッと」できる空間とサービスを提供する。
- 社員：チームアソシエとしてひとり一人が力を発揮し、いきいきと働きつづけられる環境をみんなでつくる。
- 地域社会：感謝の気持ちを持って地域の方たちとのつながりを大切に、共に育ち合う。

④施設・事業所の特徴的な取組

●アソシエふれあいの丘保育園の立地・概要

●アソシエふれあいの丘保育園は、横浜市営地下鉄グリーンラインの「都筑ふれあいの丘駅」から徒歩1分のところにあります。都筑ふれあいの丘駅は、2008年に開業された新しい駅で、横浜市内や都心へ通勤する人が多く住むベッドタウンであり、大型マンションや一戸建てが多く、若い世代の流入等、子育て世代の増大が予定される地域です。駅前には広々ときれいに整備され、周辺は自然豊かな緑にあふれ、駅の周辺にはプールや葛ヶ谷公園があり、少し足を延ばせば都田公園、牛ヶ谷公園が点在し、特に、川和富士公園は周辺の街のシンボルとなっています。また、鴨池公園こどもログハウスかもいけランドもあり、子どもたちが遊ぶのに適した環境が整っています。

●アソシエふれあいの丘保育園の特徴的な取り組みは大きく3つあり、①遊びの中で個を育て生きる力を育てる ②アソシエふれあいの丘の年間計画 ③専門講師によるアクティビティ（アート、ミュージック、スポーツ、イングリッシュ）です。①では、子ども一人ひとりのちがいを認め、個々の良いところを伸ばすことで子ども自身が自分に自信を持ち、強く逞しく生きていけるようにしています。全体ではなく個の大切さに重点を置いています。②は、例として食育が挙げられ、畑を作り、土からの栽培・収穫を行い、クッキング体験を実施する等、様々な取り組みのアクティビティを保育の中に組み込んでいます。③は、社内専任講師による活動にテーマを持ち、ねらいを明らかにして時間設定の活動を行うことを通して育成を進めています。保育士の細かい日頃の気づきと専任講師の計画性を組み合わせた保育の展開がなされています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 11月 13日（契約日）～ 2020年 5月 25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2014年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【予定に沿ったアクティビティ】

●アソシエふれあいの丘保育園の園だよりには必ず、毎月のアクティビティを予告し、保護者へ周知しています。スポーツは主に月曜日、ミュージックは水曜日、木曜日はイングリッシュ、アートは金曜日と、曜日ごとに活動が決まっており、園だよりで1週間のルーティンが示され、家庭でも予定に沿って準備も整えられ、とてもわかりやすく良い方法だと思います。保護者への「周知」という点で捉えた時、明確に伝えることが大切であり、固定した曜日の取り組みはインプットされやすく、また園の取り組みへの理解と賛同につながります。もちろん各々のアクティビティの内容は子どもに生きる力を与えるような工夫がふんだんに為されています。

2. 【食育の推進】

●アクティビティに加え、アソシエふれあいの丘保育園では食育にも力を入れています。生きぬく力を備えるためには、好き嫌いなく何でも意欲をもって食し、エネルギーに変えていくことが必要となります。子どもの好きな食べ物を聞くと、唐揚げやカレーが挙げられますが、中々野菜類は馴染まず、家庭での生野菜を食べる機会等を鑑み、家庭と一緒に工夫に取り組んでいます。園では、家庭への配付の「食育だより」を工夫し、食に関して様々な情報やお知らせを掲載して家庭での食への興味・関心に

つなげています。子どもたちはプランターで野菜を育て、収穫体験を行い、自分で育てたものを興味から好きにつなげられるよう活動を続けています。何でもおいしく食べられるようになることが生きる力につながることを根幹に給食ではバイキング等も実施し、楽しく食べる食事を推進しています。

◇改善を求められる点

1. 【職員の確保と育成、質の向上について】

●近年の職員の出入りについて、保護者から不安の1つに挙げられています。就業については保育感や相性の問題も考えられ、採用後の定着に関しても時間を要し、慣れた職員が退職することは一時的にでも質の低下が生まれます。また、経験値の高い職員を採用しても力を発揮できるのには時間がかかります。現状、保育士不足の時代と言われ、新たに良い職員を望むのが難しい時代でもあり、やるべきことは現在の職員一人ひとりのレベルアップを積み上げて行くことが遠くても近道になります。個人の資質不足はチームでカバーする体制作りの構築に努め、「チームワーク」が何より大切であり、風土作りも必要です。研修内容等を見直し、今のサービス提供、自園の強みを育てるには何が必要かを見極め、職員一人ひとりの質の向上を目指して取り組んでいかれることを期待いたしております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： アソシエふれあいの丘保育園
施設長： 高橋 実佳

<第三者評価を受審した感想>

職員全体で園の評価を行い、個々が感じてることを互いに理解したり、共通の課題として向き合うことで、園や個人の長所や短所に気づくことができ、園全体としての目標が明確になったように感じることもできた。

<評価後取り組んだ事として>

1. 職員一人ひとりのキャリアアップを図るために、専門リーダー、担当リーダー、中核リーダー等の担当業務分担と業務内容、役割を明確に示した。それにより各職員が自発的に考えたり計画を立てるなど、連携を取ることや行動が変わり意欲的に向き合うようになった。

2. 今まで以上に職員との個別面談の機会を増やし、些細なことでも聞き取り向き合うことを心がけて行きたいと感じている。また、中核リーダーや主任にもそれぞれの立場からできる支援をしてもらうように伝え、育成に対する意識を深めていくことと実現を今後の重要課題としていきたい。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり